

研究開発だより

Vol.4

新領域「光輝(かがやき)」で資質・能力を働かせ、輝いている子どもたちの様子をお届けいたします!

新領域「光輝(かがやき)」実践事例

今回のテーマは、小中接続期(5年生)・義務教育完成期(8年生)の「光輝(かがやき)」の様子をお伝えします!

小中 接続期

5年生 「ペアさん 安心・安全 絆プロジェクト」 ～1年生が安心して学校生活を送れますように～

5年



1年生が落とし物を拾ったときに、どこへ持っていかかわかるようにしたい。(2回目の交流)

どうしたら、1年生が安心してきて、5年生も納得して活動ができるだろうか...
(5年生同士の話し合い)



5年生は、1年生とペア交流を行っています。5年生の子どもたちは、「自分たちが1年生の時のことを思い出し、1年生が不安だろうから安心させたい」という思いをもっていました。そこで、1回目の1年生との交流では、ペアさんが安心して学校生活を送れるように、自分のペアさんが好きな遊びを一緒にしたり学校を案内したりするなどの活動をしました。5年生は、自分のペアさんが安心してできるように優しく声をかけたり、話を聞いたりするなどの工夫しました。

2回目の1年生との交流では、「さわやか班」で遊びを企画して、班の1年生同士をつないだり、違うペアさんのことを知ったりする目的で準備を行いました。ところが、「自分のペアさんがしたい遊びじゃないからできない」「5年生同士の協力がうまくいかない」という問題が出てきました。そこで、その問題を取り上げて話し合い活動を行いました。

「ペアさんが安心して生活することが目的だから...」という目的に立ち返る意見や「まずは、5年生同士が絆を深めて協力しないといけない」という意見などが出てきました。

ペアさんという存在を中心にして、5年生の子どもたちが語り合い成長していく姿に感動しています。

義務教育 完成期

8年生 「共に生きる 個人探究学習」 ～「探究する」ってどんなこと??～

8年



一つのテーマでも様々な事柄に細分化でき、すごいなあ。

テーマを細分化して、具体的なことをたくさん書くことができる。探究学習のときにも、今日やったテーマの細分化を活かしたい。



8年生は、個人探究学習のスタートの学年です。9年生の冬に向けて2年にわたって研究を進めていきます。この研究の土台となるのが、7年生の時に実施したグループ探究学習です。みんなの知恵を集めて研究し、その過程で身に付けてきたことを、今度は一人ひとりの力で学び進めていきます。

この学び進めていくきっかけとなる、「課題の設定」に入る前に、子どもたちは、探究とはどのようなことかを学んでいます。例えば、「東京オリンピック」という一つの出来事を見ても、スポーツを想像する人もいれば、そこにかかわるボランティアの人について考える人もいるでしょう。いろいろな視点で物事を見つめてみれば、細かな部分まで掘り下げていくことができ、これをもとに、自分自身が「課題」として設定し、本格的な探究活動に入っていくことができます。

このいろいろな視点で物事を見つめる、ということは、勉強はもちろん、学校生活全般にも役立ちます。勉強の面白さを発見したり、いろいろな人の立場に立って気持ちを考えたり、豊かな考えにつながっていくことを楽しみにしています。

